

住民が支え合い、誰もがその人らしく健やかで安心して暮らせる とわだ

十和田市 社協だより

合同特集号

十和田市 共同募金委員会広報

令和5年10月発行 第132号

地域で福祉を支える人

の ざき こ
一本松地区に住む野崎さち子さんは、長年農業に携わり勉強を重ねてきた食に関する知識と技を生かして、いきいきサロンの活動を続けています。

野崎さんは、若い頃は仕事に夢中で地域に目を向けることはほとんどありませんでした。しかし、ふと周りを見たときに地域の高齢化が進んでいることに気づき、社協が行う「ふれあい・いきいきサロン事業」を活用し、高齢者の健康づくり、仲間づくりの場としてサロンを始めました。「心強い仲間がいるおかげで活動を始めることができましたし、現在も続けることができています。」

現在は、サロン以外にも高齢者の孤食を防ぐため、郷土料理を中心とした食堂“食堂一本松”を月1回開催しています。目標は、地域の人が安心して集まり、頼ることができる場所をつくることだといいます。

「先々のこととも考えますが、自分たちが楽しく活動しているのが一番。その姿を見て、一緒に活動したいという人が出てくれたらうれしいです。」と野崎さんは笑顔で話してくれました。

十和田市社会福祉協議会は、これからも福祉に携わる人を応援していきます。

～十和田市社会福祉協議会創設70周年記念～ 第19回十和田市社会福祉大会

記念講演

「笑顔でつなぐ木久藏流
地域コミュニケーション」

講師 はやしや きくぞう
落語家 林家 木久藏 氏

10月20日(金)

開場 12:30 開会 13:00
十和田市民文化センター大ホール

主催 十和田市・十和田市社会福祉協議会



令和4年度十和田市社会福祉協議会実績報告

令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大予防のため事業を一部変更・縮小・中止することとなりました。市民の皆さまにお詫び申し上げますとともに事業実施に向け多大なご協力をいただきましたことに深く感謝いたします。

十和田市社会福祉協議会は、これからも市民の皆さまが、住み慣れた地域で安心していつまでも暮らせるよう各種事業を展開していきます。

環境づくりの推進（11事業）

1 ふれあい相談所事業

悩みごと、困りごとについて、電話・来所・メールで応じ、解決、改善につなげました。

- 開設日数 241日
- 相談件数 163件
- 相談内容は人権問題96件、職業・生業問題37件など

2 広報・啓発事業

広報誌の発行やホームページ、Facebookでの情報発信を行いました。

- 社協だよりの発行 3回（7月、10月、3月）
- ホームページの更新、Facebookの投稿 随時

3 生活福祉資金貸付事業

低所得世帯等へ、進学資金や障がい者用自動車購入費などを貸し付けます。

令和4年度は、感染症拡大予防のための休業、失業による特例貸付も行いました。

- 相談件数 67件（うち特例貸付36件）
- 貸付件数 22件

4 たすけあい資金貸付事業

不時の出費などで生活困窮となった低所得者世帯に、一時的な生活援護資金を貸し付けました。

- 相談件数 110件
- 貸付件数 57件
- 相談者は50・60代男性が多い

5 日常生活用具貸出事業

在宅介護の補助用具を貸し出しました。

- 介護用ベッド貸出数 13件
- 車いす貸出数 25件
- シルバーカー貸出数 10件

6 福祉安心電話サービス事業

緊急時に不安がある高齢者などのお宅に、緊急通報装置の設置を行いました。

- 利用者数 21人
- 協力員数 52人
- 緊急通報件数 8件
- 停電通報件数 11件
- 相談通報件数 19件

7 日常生活自立支援事業

高齢、障がいなどで判断能力が不十分な方に、福祉サービス利用手続き、各種利用料の支払い、公共料金の支払い代行や通帳・実印などの預りを行いました。

- 相談件数 3,726件
- 利用契約件数 15件（延べ実利用110人）

8 成年後見事業

認知症、知的・精神障がいなどで契約能力に不安のある方のため、成年後見人を受任し支援を行いました。

- 相談件数 3件
- 受任件数 2件（延べ実利用7人）
- 受任類型 後見6件 保佐1件

9 福祉サービス苦情解決第三者委員設置事業

社会福祉協議会が提供する福祉サービスの向上を目的に、苦情や問題点の改善を図りました。

- 社協の福祉サービス満足度 76.3%
- 第三者委員の設置 5人

10 フードバンク・サポート事業

生活困窮の要援護者に、最低限の食事の現物給付を行いました。

- 支援件数 134件
- 提供物品はレトルトご飯、カップ麺、缶詰、飲料など

11 意思疎通支援者派遣事業

聴覚、言語、音声機能等の障がいがある方に、手話通訳者及び要約筆記者を派遣し、意思疎通の支援を行いました。

- 手話通訳者派遣件数 229件

地域づくりの推進（11事業）

1 一人暮らし高齢者ふれあい事業

十和田市民生委員児童委員協議会と連携し、一人暮らし高齢者を対象に、会食・レクリエーションなどの交流により孤独感の解消を図る事業です。

- 新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、お元気確認訪問へ一部変更 訪問対象2,580世帯

2 夏休み寺子屋事業

児童の夏休み期間中に、地域のボランティアの見守りによる“遊び・学び・伝え”を提供し、健全育成と子育て支援を行う事業です。

- 新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止

3 高齢者健康体力維持支援事業

十和田市老人クラブ連合会と連携し、高齢者の体力維持・増進のためスポーツ交流会などを行う事業です。

- 新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、研修会開催へ一部変更 参加者80人

4 ふれあい・いきいきサロン事業

地域の集会所など身近な場所を活用し、高齢者の仲間づくり、健康づくりなどを行いました。

- 実施地区 30地区
- 開催回数延べ 494回
- 参加者数延べ 5,208人

5 元気世代ネットワーク構成員の集い事業

介護予防層世代のネットワークを拡張する研修と交流・情報交換の機会を設け、心身の健康増進を図りました。



- 参加者36人（いきいきサロン実施の20地区から）
- 研修内容 健康体操、サロン活動の状況・課題等の意見交換

6 地域福祉ほのぼの交流事業

一人暮らしの高齢者や障がい者のお宅へ地域の協力員が訪問し、ふれあいを図りました。

- 対象世帯 4世帯
- 協力員数 4人

7 ゆめ色フェスティバル事業

障がい者の社会参加促進のため、芸能発表などのレクリエーションで交流を深める事業です。



- 新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、DVD作製により開催 参加団体10団体

8 手話を学ぶ機会の提供事業

十和田市ろうあ協会と連携し、市民に手話を学ぶ機会を提供し、聴覚障がいへの理解へつなげる講習会・奉仕員養成講座を開催しました。



- 手話講習会 全6回 参加者数延べ61人
- 十和田市手話奉仕員養成講座 全22回 参加者数延べ209人

9 十和田市社会福祉大会事業

社会福祉活動に功績のあつた方の表彰、福祉に関する講演を行いました。



- 参加者 340人
- 社協関係表彰 表彰の部 44人 感謝の部 3人・1団体
- 共募関係表彰 個人の部 6人 団体の部 11団体 町内会の部 20町内会
- 記念講演 「コロナ禍での免疫力を高める食と生活習慣」 講師 イシハラクリニック 副院長 石原新菜氏

10 十和田市生活支援体制整備事業

高齢者の地域生活の安定と介護予防のため、地域活動の支援や生活支援の情報提供を行いました。

- 情報誌の発行配布 4,000部
- 地域づくり座談会 9地区14回開催

11 発達障がい理解の事業

発達障がいに対する理解を深めるため、講演会を開催する事業です。

- 新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止

人づくりの推進（8事業）

1 福祉教育推進事業

福祉教育インストラクターが学校へ出向き、高齢者への介助方法やボランティア活動について指導を行いました。



- 依頼件数 25件
- 総受講者数 889人
- 活動インストラクター数 延べ100人

2 ほんわかハート展事業

小・中・高校生を対象に福祉への理解を深めるため、作文・ポエム・絵画・書道・写真のコンクールを行いました。



- 応募数 888点（全25校）
- 入選者 170人

3 中学生ボランティアスクール事業

助け合い、支え合い、共に生きることの大切さを学ぶ機会となるよう、ボランティアの体験型学習を行う事業です。

- 新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止

4 福祉教育インストラクター養成派遣事業

社会福祉やボランティアに関心のある人を福祉教育推進業務の補助インストラクターとして養成しました。



- 参加者 1人

研修内容 学校等で実施している福祉体験学習の内容（車いす体験、視覚障がい者体験、高齢者疑似体験）の体験

5 お話しボランティア派遣事業

日中話し相手がなく誰かと話したいという高齢者等の世帯へ、話し相手となるボランティアの派遣を行いました。

- 利用登録者数 23人
- 派遣回数 延べ13回

6 ボランティア・市民活動事業

福祉機材の貸出や、ボランティアを必要としている方と活動を希望する方の調整を行いました。また、活動中の事故・ケガに備えて加入する保険料の一部助成、ボランティア団体育成のための活動費助成を行いました。

- ボランティア登録 団体 53団体（2,275人）
個人 133人
- 依頼件数 5件（うち斡旋4件）
- ボランティア保険加入 62件
- 保険料の助成 455人
- ボランティア団体育成助成 16団体

7 災害救援ボランティア活動研修事業

災害支援ボランティアに関心のある市民を対象に、災害発生時に必要とされる活動を理解し、自らが可能なことを実行する人材育成を目的とした研修を行いました。



●参加者 34人

●研修内容 災害ボランティアセンターに関する講話、被災時を想定した事例検討（グループワーク）

8 十和田市介護支援ボランティア事業

高齢者の社会参加・介護予防を目的にボランティア活動参加を支援・奨励し、活動に伴った付与ポイントの地場産品への交換を行いました。

●説明研修会 3回 ●登録者数 6人（全103人）

●活動回数 336回（活動時間延べ963時間）

●ポイント交換者数 11人

会務の運営

社会福祉協議会の適正、円滑な運営を図るよう、役員会及び各委員会の開催、財務規律の公正性を確保するよう監査会等を行いました。

●理事会 3回 ●評議員会 2回 ●監査会 3回

●評議員選任委員会 2回

●福祉基金運営委員会 1回



～社会福祉協議会会費へのご協力をお願いします～

十和田市社会福祉協議会は、住民が支え合い、「誰もがその人らしく健やかで安心して暮らせる」とわだを目指し、地域福祉推進のためのさまざまな事業活動を行っています。

昭和28年創設の十和田市社会福祉協議会は、住民の皆さまの会費について、各町内会を通じてご協力いただいており、深く感謝申し上げます。

皆さまからいただいた会費は、社会福祉協議会の活動にご賛同いただく大切な気持ちを受け止め、貴重な財源として、全ての事業に有効に活用させていただきます。

令和4年度決算報告

資金収支決算書

収入		支出		貸借対照表	
				(単位：円)	(単位：円)
会費収入	4,755,200	人件費支出	57,652,404	資産の部	負債の部
寄附金収入	404,072	事業費支出	10,335,459	流動資産 預貯金 事業未収金 その他の未収金	流動負債 事業未払金 その他の未払金 預り金
事業収入	1,995,423	事務費支出	6,559,745	40,610,728 40,478,740 131,000 988	2,990,041 1,482,338 1,260,431 247,273
経常経費補助金収入	44,914,000	貸付事業支出	1,116,000	固定資産 基本財産 基本財産特定預金 その他の固定資産 車輌運搬具 器具及び備品 投資有価証券 福祉基金積立資産 たすけい資金貸付金 退職給付引当資産 備品等購入積立預金	固定負債 退職給付引当金 負債の部合計
助成金収入	137,500	共同募金配分金事業支出	100,000	178,857,417 3,300,000 3,300,000 175,557,417 2,930,823 6 100,020,870 45,780,622 1,866,150 20,688,946 4,270,000	20,688,946 20,688,946 23,678,937 純資産の部 基本金 福祉基金 国庫補助金等特別積立金 その他の積立金 備品等購入積立金 次期繰越活動増減差額 次期繰越活動増減差額 (うち当期活動増減差額) 純資產の部合計
受託金収入	21,243,100	経常経費補助金支出	1,294,237		3,300,000 145,801,492 0 4,270,000 4,270,000 42,417,666 42,417,666 315,354 195,789,158
貸付事業収入	975,000	助成金支出	2,188,250		
共同募金配分金収入	5,030,000	負担金支出	216,947		
負担金収入	885,000	固定資産取得支出	0		
受取利息配当金収入	875,153	投資有価証券取得支出	19,779,600		
その他の収入	205,935	基金積立資産支出	2,111,588		
基金積立資産取崩収入	22,171,188	積立資産支出	2,000,375		
サービス区分間繰入金収入	4,202,250	サービス区分間繰入金支出	4,202,250		
前期末支払資金残高	37,383,721	予備費	0		
		当期末支払資金残高	37,620,687		
合計	145,177,542	合計	145,177,542	資産の部合計	219,468,145
				負債及び純資産の部合計	219,468,145

NEWS

子育て支援リユース事業 “みんなのクローゼット” 開催しました!



十和田市社会福祉協議会では、今年度より新たに子育て世帯への支援の一助となるよう、市内の社会福祉法人と連携し子育て支援リユース事業に取り組みました。

ご家庭にある「いずれ使おうと思っていたけど使わずにしまっているもの」「もう使わないけど、まだまだ使えるもの」など、リユースできる子ども服や学用品を市内の社会福祉法人と連携して収集し、年2回、春と秋に開催するイベント名“みんなのクローゼット”（通称：みんクロ）で18歳以下の子供がいる世帯へお渡します。



6月25日（日）に“みんなのクローゼット”を開催しました。

連携している法人より合わせて732点の春夏物の衣類、学用品が集まり、イベントには122の方にご来場いただきました。



子育て支援リユース事業に登録・連携している市内の社会福祉法人

社会福祉法人 生きがい十和田
社会福祉法人 幸愛会
社会福祉法人 至誠会
社会福祉法人 十和田湖会
社会福祉法人 福祉の里
社会福祉法人 義乃会

社会福祉法人 恩和会
社会福祉法人 さつき会
社会福祉法人 豊ヶ岡保育会
社会福祉法人 八甲田会
社会福祉法人 友愛会



お知らせ(次回開催)
日 時 令和5年10月9日(月・祝)
午前11時～午後3時

場 所 市民交流プラザ トワーレ

提供物品 秋冬物の衣類や学用品など

※ご来場の際は、エコバッグをご持参ください。
※ご希望の物品がない場合もあります。ご了承ください。
6、10月の開催案内はホームページ、Facebookをご確認ください。

たくさんのご来場お待ちしております！

7月と8月は
ボランティア月間

社協ダイアリー

開催した行事を紹介します

東小学校区

7月 25日(火)

26日(水)

8月 2日(木)

3日(金)

南小学校区

7月 25日(火)

26日(水)

8月 1日(木)

2日(金)

児童の見守りある居場所づくり“夏休み寺子屋” 4年ぶりに開催！

夏休み期間中の“児童の遊び・学びの場”と“地域の見守る・伝える場”を融合した居場所づくりの事業「夏休み寺子屋」を4年ぶりに開催しました。

夏休み寺子屋は、東小学校区、南小学校区の2地区で開催し、4日間で延べ121人の児童が参加し、毎日さまざまなプログラムを通じて、地域に住むボランティアの方々と交流を深めました。

参加した児童からは、「毎日寺子屋に来たい！」「来年も来たい！」などのうれしい感想が寄せられました。

また、連日30℃を超える猛暑の中、ご協力いただいた地域のボランティアの皆さん、ありがとうございました。



ボランティアの皆さんと集合写真 いい笑顔です

水遊びも楽みました 野菜収穫も体験！

中学生ボランティアスクール

8月
8日(火)

自分にできることを考え 助け合いの心を学んだ

人の役に立つことの喜び、支え合うことの大切さを学ぶ「中学生ボランティアスクール」を十和田市総合体育センターで行いました。

午前は、県内のチーム「AOMORI JOPS」の高杉勝彦さんを講師に迎え、車いすバスケットボール体験を実施しました。誰もが楽しめるスポーツの魅力を感じるとともに、講師のお話から、誰とでも分け隔てなく接すること、周りを見て行動することなど、さまざまな立場の人と共に生きるなかで大切なことを学びました。午後は、災害ボランティアの講話や防災グッズ作りを通して自分にできることは何かについて考えました。

参加した生徒たちは、同じ目的を持つ仲間と協力し合い、笑顔で1日のプログラムを終えました。

この事業は赤い羽根共同募金の配分金が使われています



競技用車いすに乗り、全員でミニゲーム。声を掛け合い、上手にバスをつなぐことができました

新聞紙を使ったお皿作りとキッチンペーパーを使った簡単マスク作りに挑戦しました

青森県総合防災訓練

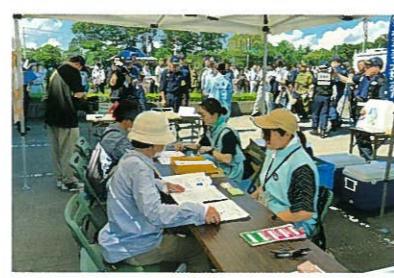
ボランティアと一緒に災害時の役割を確認！

青森県総合防災訓練が、今年度は十和田市を会場として行われました。その中で、十和田市社会福祉協議会は、災害支援ボランティア活動登録者・近隣市町村社会福祉協議会職員の総勢25人で、“災害ボランティアセンター設置・運営訓練”に従事しました。

“災害ボランティアセンター”とは、大規模災害発生時など、全国各地から駆け付ける多数のボランティア活動者と被災者の支援要望を調整し、早期に生活復旧へつなげる役目を担います。当日は、①被災者の支援要望の受付②ボランティア活動希望者の受付③支援要望と活動者を調整④活動（被災）場所へ安全・円滑な派遣⑤活動開始⑥活動確認・結果報告の一連を訓練しました。

参加した災害支援ボランティアの方々から「このような炎天下・悪天候の活動もあり、ボランティアも十分な体調管理が必要と感じた。」「被災者は、早期な支援を待っているでしょうから力になりたい。」などという声がありました。

十和田市社会福祉協議会は、これからも市民の皆さまの助け合いの気持ちを生かし、安心・安全な地域づくりに貢献します。



住民からの支援の要望と活動者を調整しています



しゃきょう

情報ひろば

Information

催し

介護支援ボランティア事業説明・研修会

■内 容 60歳以上の世代の介護予防等を目的に、市で実施している介護支援ボランティア事業の説明とボランティア登録を行うための研修を行います。登録後、施設等で活動するとポイントが付与され、ためたポイントは市の特産品と交換することができます。

■対 象 60歳以上の市民

■開催日時 11月24日（金）10:00～11:00

■場 所 市民交流プラザ 多目的研修室2

■定 員 20人（先着順）

■その他 筆記用具持参、動きやすい服装

■申 込 電話でお申し込みください。

対応時間 平日8:30～17:15

申込期限 11月21日（火）



過去の研修会の様子



車いす操作の実技もあります

告知

苦情解決の窓口を設置しています

社会福祉法第82条に基づき、十和田市社会福祉協議会が提供する福祉サービスに対し、利用者の皆さまの声を受け付ける窓口を設置しています。

公平性や客觀性を保つために、事務局担当者のほか、「第三者委員」を設置しています。この第三者委員と一緒に問題の改善、解決に向けて対応していきます。

利用しているサービスに対して、ご意見やご要望がある場合は、お気軽にご相談ください。

第三者委員（敬称略）

東 静 小林千恵 櫻田一雅 太田敏男

十和田市社協だより 令和5年10月発行 第132号

編集・発行 社会福祉法 十和田市社会福祉協議会

住 所 〒034-0011 十和田市稻生町18-33 市民交流プラザ内

電 話 0176-23-2992

E-mail welfare@towada-shakyo.or.jp

ホーメージ http://towada-shakyo.or.jp

Facebook http://facebook.com/towadashakyo/

この広報は赤い羽根共同募金の配分金で作成しました

催しや募集に関するお問い合わせは
お気軽に社協までご連絡ください。

23-2992

皆さまからの善意

令和5年6月1日～8月31日受付分を掲載します。

※社会福祉協議会への寄附は税制上の優遇措置が認められています。

物品寄贈

・洞 内 貴 子 様 電動ベッド1台
(日常生活用具貸出事業へ)

・東北電力ネットワーク株式会社 レスキューフーズ 198食
十和田電力センター 様 (フードバンク・サポート事業へ)



レスキューフーズを
寄贈した
東北電力ネットワーク株式会社
十和田電力センター様

・その他 青森県社会福祉協議会が行う「あおもりフードバンク」への寄贈品（寄贈元：青森県生活協同組合連合会様）を受け取りました。いただいたパックごはん、スープ、缶詰、飲料など45食分の食品はフードバンク・サポート事業で活用いたします。

ボランティア通信

気軽にできる“収集ボランティア”



ブルタブは換金し、障がい者福祉分野の事業「ゆめ色フェスティバル」の開催資金に活用します

いつもご協力をありがとうございます

十和田市社会福祉協議会では、今年度依頼があつた市内13の学校の児童・生徒を対象に、福祉体験学習を行っています。

この体験学習は、地域のボランティア「福祉教育インストラクター」が指導や補助をしています。体験中に事故やががないよう、そして有意義な体験となるよう、多くのご協力をいただいています。



屋外では、車や歩行者に気を付けながら体験を補助します

パネルを使って分かりやすく、それぞれの体験の講話をしています

じぶんのまちをよくするしくみ。

赤い羽根共同募金

令和5年10月1日から令和6年3月31日まで全国一斉に

“赤い羽根共同募金運動”が行われます。

※十和田市共同募金委員会では令和5年10月1日～12月31日を募金強化期間としています。

赤い羽根共同募金は、地域の高齢者や障がいがある人、子どもたちなどに対するさまざまな地域福祉活動を支える「じぶんの町を良くするしくみ。」です。

私たちが暮らす十和田市で集まったお金は、主に十和田市の福祉活動に役立てられます。

十和田市をよくするために、今年もまた赤い羽根共同募金運動に、ご支援ご協力をよろしくお願ひいたします。



十和田市の令和5年度の目標額は8,560,000円です

共同募金は、事前に使い道や集める額を決めた上で募金活動を行う「計画募金」です。青森県共同募金会では、市町村共同募金委員会から申請された地域で行う福祉活動の必要額をとりまとめ「目標額」を決定します。いただいた募金は、青森県共同募金会に集約され、翌年度配分されます。

十和田市では、地域福祉の推進のため、十和田市社会福祉協議会が実施する6事業費に「地域助成」として配分されます。

このほか、県内の社会福祉施設や団体への「広域助成」、災害準備金などに活用されます。



地域助成はこのような福祉活動に活用されます(一部紹介)



元気世代ネットワーク構成員の集い

介護予防層世代のネットワークを拡張する研修と交流・情報交換により、心身の健康増進を図ります。



ゆめ色フェスティバル

障がいの有無や年齢・性別を問わず、一堂に集うふれあい交流会によって、障がい者福祉の増進と社会参加の促進を図ります。

オリジナルピンバッジ&戸別募金ステッカー作成



「赤い羽根共同募金」は市民の皆さま一人ひとりに、参加ご協力を目指している運動です

戸別募金・法人募金・街頭募金・職域募金・学校募金・協力店募金・インターネット募金など、子供から大人まで生活の場が異なっていても、参加しやすいように展開しています。

◆個人の場合は、所得税の所得控除または税額控除、住民の税額控除が受けられます。法人の場合は、法人税の全額損金算入の税制優遇が受けられます。

スマホからも、募金できます。



今年度は、十和田市产品PRキャラクター「十和田ふあみりーずの十和田にんにん」とコラボレーションしたピンバッジ、戸別募金ステッカーを作成しました。ピンバッジは500円以上の募金をした個人の方へ、ステッカーは戸別募金をした全家庭にお配りします。



ありがとうございました 令和4年度赤い羽根共同募金の状況



令和4年度、皆さまからご協力いただいた赤い羽根共同募金は、おかげさまで8,165,019円が集まりました。この募金は、青森県共同募金会に集約され、県内の様々な民間福祉活動に役立てられます。

運動期間 令和4年10月1日～令和5年3月31日

合計 8,165,019円

区分	令和4年度募金額	特記
戸別募金	5,204,889円	13,945世帯
法人募金	1,132,933円	189法人
団体募金	141,981円	老人クラブ連合会、民生委員児童委員協議会、十和田シニアパソコンクラブ
街頭募金	209,971円	10日間活動実施
職域募金	823,902円	39企業・施設等
大口募金	105,217円	17人
学校募金	96,962円	9保育園・幼稚園、17小中高等学校
協力店募金	42,337円	25店舗
ピンバッジ募金	240,345円	476個
その他の募金	166,482円	イベント募金 他
合計	8,165,019円	

集約された募金は、「地域助成」と「広域助成」に分配されます

地域助成 4,890,000円

十和田市社会福祉協議会に配分され、令和5年度の各種事業に役立てられます。



◆高齢者福祉活動費

元気世代ネットワーク構成員の集い事業

◆障がい児・者福祉活動費

ゆめ色フェスティバルの開催

手話講習会事業の開催

◆児童・青少年福祉活動費

ほんわかハート展の開催

◆福祉育成・援助活動費

ボランティア、地域福祉活動の広報、啓発事業

◆ボランティア活動育成費

福祉教育インストラクター養成研修の開催

中学生ボランティアスクールの開催

お話しボランティア事業

◆法人事業費

社会福祉大会の開催 社協だよりの発行

広域助成 3,275,019円

県内の民間福祉施設の整備や福祉団体の活動費用、住宅災害などに遭われた方々への災害見舞金などに活用されます。



十和田市の令和5年度配分決定法人

- おいらせサポートハウスKの家 → 介護用ベッド・マットレス
- 十和田つくし保育園 → 軽量アルミテント・三方幕
- 生きがい十和田保育園 → 園児使用玩具・CDラジカセ他

募金の使いみちは、「はねっと」で公開します。



十和田市の「はねっと」ページはこちら

災害義援金受付中

十和田市共同募金委員会では、災害義援金を受付けています。

詳細については、青森県共同募金会ホームページをご確認いただくか、十和田市共同募金委員会へお問い合わせください。

青森県共同募金会
災害義援金ページはこちら



★学校・保育園(所)としてご協力の皆さま

北切田	園中	小學	校樣
【か行】			
ささ沢田	くらき	保育園	様
三松四	木木陽和	幼稚園	様
ちとねだ	とせ	小学	校樣
十和田第一	わだこ	中央保育園	様
第十和田めぐみ	わだめぐみ	保育園	様
【さ行】			
西八東ひ深藤法洞	郷中かり持坂奥内	保育園	様
【ま行】			
まみ緑南	るきと	くども太陽の保育園	様
まみ緑南	の	の保育園	様
まみ緑南	と	太陽の保育園	様
まみ緑南	る	小學	校樣

【か行】 溪流の駅 おいらせ様
コンビニショップエキスプレスおがわ様

【さ行】 サンコ一弁 当様
365様

食事処おいらせ様
㈱スーパーカケモ切田通り店様

㈱スーパーカケモ三小通り店様
㈱スーパーカケモ西金崎店様

スマイルホテル十和田様
ダイナム十和田店様

テレトラック十和田様
十和田ゴルフプラザ様

【た行】 中村酒店様
ボニーワ温泉様

【な行】 マックスバリュ北園店様
道の駅とわだ様

みちのく銀行十和田中央支店様
Yシヨツブ小栄様

★その他ご協力の皆さま

公共施設来館者募金

市民交流プラザ様
地域交流センター様
十和田市現代美術館様

受配施設募金

(特非) おいらせサポートハウスKの家様
福) 開成会 十和田つくし保育園様
福) 心輝会 ほなみ保育園様
福) 八甲田会様
(特非) ワークハウスとわだ様

イベント募金

あつたかあおもりプロジェクト(ユニバース様、サントリーフーズ様)
マルハンユニオン様
みちのくキャンティーン様



昨年、新たにダイナム十和田店様が募金箱の設置に協力してくださいました。
十和田市共同募金委員会では募金箱の設置に協力していただける協力店を募集しています。

★共同募金協力店・施設の皆さま

【あ行】

青森銀行十和田支店様
青森県信用組合十和田支店様
青森県庁消費生活協同組合十和田支店様
一心亭十和田店様
奥入瀬森の木テル様
奥入瀬ろまんパーク様
㈲小笠原国雄商店様



毎年、各町内会を通じ、戸別募金へご協力いただいております。町内会・町内会班長・町内会員の皆さんへ、改めて深く感謝申し上げます。

今年も変わらぬご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。



連絡先
十和田市共同募金委員会
十和田市稻生町18-33
市民交流プラザ内
☎0176-23-2992

募金は、振込でも受付しております。
「青森銀行 各支店窓口」からの振込は、手数料がかかりません。

<振込先>
青森銀行 十和田支店 (普) 834033
社会福祉法人青森県共同募金会
会長 元木篤子
なお、振込後ご一報いただければ幸いです。